

2024 年度 特定非営利活動法人晃智会 事業計画書

2024 年 5 月 1 日

1. 総論

令和 6 年度は障害福祉サービス報酬等改訂が行われ、細分化されたサービス提供時間に対応する必要が出てきました。既存の運営では 5 % 程度の減算が想定され、法人の収益低下に対して運営体制を変化させる必要も出てくる 1 年となりそうであり、職員の勤務時間のシフト化や営業時間の再検討など、運営状況次第では見直しも実施していく必要がありそうです。

DAISY 開設後半年になる 6 月までに DAISY の運営体制をどこまで安定させていけるかが今年の最重要課題となります。

2. 重点目標・業務計画

(1) 稼働計画

①ROHAS 利用者

⇒平均稼働率 100% (一日平均 20 人) 309 営業日 年間目標利用者数 6,180 人

②DAISY 生活介護利用者

⇒平均稼働 60% (一日平均 12 人)

305 営業日(4 月週 5 5 月以降週 6 日) 年間目標利用者数 3,660 人

③DAISY 児童発達/放課後デイ

⇒平均稼働 60% (1 日平均 3 人)

201 営業日(4 月週 5 5 月以降週 4) 年間目標利用者数 603 人

④日中一時支援 随時受入れ

(2) 業務計画

①DAISY 運営の安定化

②人材育成

③グループホーム設置準備

(3) 業務改革

①業務のオンライン化を継続

業務改革は順調に進んでいる。引き続き IT 化を進める。

- ・会議や勉強会のオンライン化
- ・各種書類のオンライン化

②勤怠調整

- ・報酬改定に合わせ勤怠シフト制に。

(4) 人員

- ・2 店舗とも新人員基準 1.5:1 に対応できる人材の確保 (パート職員の確保)
- ・医療ケアへの対応に向けての看護職員の増員
- ・放課後デイ/児童発達支援における専門職配置 (リハ職、保育士など)